

# 定 期 監 査

## 1 監査の対象、監査実施期間等

監査実施期間	対象課・係		対象期間
令和7年11月14日 ～同年12月17日	総務課	庶務係、業務係	令和7年4月1日 ～同年9月30日
	施設課	管理係、工務係	

## 2 監査の方法

対象期間内に執行された事務事業について、提出された資料に基づき、関係諸帳簿及び証拠書類等により予備監査を実施し、担当職員からその執行状況等の説明を聴取した。

監査に当たっては、財務に関する事務の執行が適正かつ正確に行われているか、また、より少ない費用で、最大限の成果を得ているかを主な着眼点とした。

なお、事前に、過去の監査結果等を参考にリスク評価を行い、重点監査項目を設定した。その主な項目は次のとおりである。

### (1) 予算関係

- ・予算科目は適切であるか。

## 3 監査の結果

監査対象となった事務事業は、所期の目的に沿った執行が進められており、その経理手続、事務処理は概ね妥当と認められ、公表すべき指摘事項は見られなかった。

なお、各課における予算の執行状況等は、後述のとおりである。

### (1) 処置結果

定期監査における処置結果は、次のとおりである。

#### 【各処置区分の件数】

区分	件数
指摘	0件
注意	0件
指導	0件
検討・要望	0件
合計	0件

## ◇ 予算の執行状況

(単位：円、%)

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額 支出負担行為額	収 入 未 済 額 予 算 残 額	対 予 算 執 行 率
歳 入	564,000,000	334,686,799	229,313,201	59.34
歳 出	564,000,000	397,821,906	166,178,094	70.54

予算現額は、歳入歳出それぞれ 564,000 千円である。

歳入は調定額 339,160 千円、収入済額 334,687 千円で、執行率 59.34%となっている。

歳出については、支出負担行為額 397,822 千円で、執行率 70.54%、9 月末日時点での支出命令金額は 302,018 千円となっている。

## ◎ 総務課

### 1 職員数及び事務分掌

庶務・業務係が置かれており、職員は課長以下 8 人（うち会計年度任用職員 2 人）である。

なお、このうち 1 人は富士市からの人事交流職員である。

事務の分掌は、庶務係が職員の人事・給与・服務及び共済組合・公務災害に関することなど、業務係が事業計画の調整・事務管理及び広報に関することなどである。

### 2 事務事業の執行状況

#### (1) 庶務係

##### ア 議会に関する事務

議会運営に関する事務及び会計処理を実施しており、10 月 20 日及び来年 2 月 4 日に議会定例会を予定している。

##### イ 岳南排水路運営委員会に関する事務

運営委員会に関する事務及び会計処理を実施しており、6 月 2 日に開催している。また、11 月 10 日に開催を予定している。

##### ウ 職員の福利厚生に関する事業

予算額 549 千円を計上し、職員の健康保持及び増進を図るため健康診断等を実施するとともに、職員の福利厚生を図るための事業を実施している。

##### エ 職員の人事、給与、共済組合及び公務災害補償に関する事務

一般職員 16 人（富士市からの派遣職員 2 人及び人事交流職員 1 人含む）、パートタイム会計年度任用職員 2 人の給与、共済組合及び公務災害補償に関する事務及び会計処理を実施している。9 月末日時点での一般職員 16 人（富士市からの派遣職員 2 人及び人事交流職員 1 人含む）の給与支給等は、予算額 118,569 千円を計上し、49,782 千円を執行、パート

タイム会計年度任用職員 2 人の報酬支給等は予算額 7,693 千円を計上し、3,640 千円を執行している。

オ 職員の研修に関する事務

事務管理能力の向上、専門技術習得のための研修等参加に関する事務及び会計処理を実施しており、富士市職員研修には 3 件、延べ 7 人、その他の研修には予算額 1,137 千円を計上し、742 千円を執行、7 件、延べ 13 人が参加している。

(2) 業務係

ア 出納事務

使用料は、9 月末日時点で 207,745 千円を収入しており、予算額 409,500 千円に対し、執行率は 50.73%となっている。占用料は有料占用者 20 件、254 千円を収入しており、執行率は 105.46%となっている。

イ 契約事務

富士市の法令に倣った予定価格以上の工事請負契約、業務委託及び物品等の購入などの入札並びに少額案件の見積合せを執行し、9 月末日時点で工事 22 件、委託 14 件、物品 9 件の契約を締結している。

ウ 防災対策事務

防災訓練を 9 月 1 日に富士市総合防災訓練と同時に開催し、参加職員は正規職員 13 人、会計年度任用職員 1 人であった。また予算額 202 千円を計上し、大規模地震などの災害発生に備え食糧の備蓄を行っており、1 月に本年度分を発注する予定となっている。また、賞味期限間近となった食糧は、フードバンクに寄付を行っている。

エ 広報事務

広報紙は予算額 227 千円を計上し、年 3 回配布している。今年度は 7 月に第 76 号を発行しており、今後 12 月及び来年 3 月に発行予定となっている。

オ 庁舎管理事務

庁舎日常清掃などの衛生管理や昇降機などの設備の維持管理を行っている。

カ 用地管理事務

借地契約は予算額 3,976 千円を計上しており、9 月末日時点で港湾用地及び鉄道用地など 11 件、1,886 千円を執行している。今後、年度末に民間会社等 16 件に支払い予定である。所有地の占用許可は、9 月末日時点で一時占用許可事務を 1 件執行しており、過年度からの継続許可件数は 65 件となっている。

## ◎ 施設課

### 1 職員数及び事務分掌

管理・工務係が置かれており、職員は課長以下7人である。

なお、このうち1人は富士市からの派遣職員である。

事務の分掌は、管理係が施設の小規模な維持・修繕、ポンプ場の運転管理、管内点検・清掃に関する事など、工務係が下水道事業の計画・認可、施設の維持・補修・改築に関する事などである。

### 2 事務事業の執行状況

#### (1) 管理係

##### ア 水質管理事業

水質調査として予算額 640 千円を計上し、水質分析並びに機器及び薬品の管理を行っている。水質調査の調査項目は PH、DO 等であり、66 回の調査を自主監視で実施しているほか、水質調査業務委託を 2 件行っている。

また、硫化水素調査として予算額 1,380 千円を計上し、硫化水素調査を 42 回実施しているほか、機器等の管理を行っている。

##### イ 下水道維持事業

維持補修として施設の小規模な維持等を実施しており、予算現額 23,600 千円に対し、支出負担行為額 15,853 千円で執行率 67.17%となっている。

また、保守点検として管内点検及び清掃、下水道台帳、施設の小規模な修繕等を実施しており、予算現額 28,310 千円に対し、支出負担行為額 25,948 千円で執行率 91.66%となっている。

その他下水道管理事務として予算額 1,406 千円を計上し、各種協議を随時、巡視を 12 回実施している。

##### ウ ポンプ場維持事業

維持補修として施設の小規模な維持等を計画しており、予算現額 800 千円に対し、未執行となっている。

また、保守点検としてポンプ場の運転管理、施設の小規模な修繕等を実施しており、予算現額 34,920 千円に対し、支出負担行為額 34,014 千円で執行率 97.41%となっている。

その他ポンプ場管理事務として予算額 6,177 千円を計上し、燃料、光熱水等の調達を実施している。

#### (2) 工務係

##### ア 管渠施設費

保全対策事業として管路施設の更新、長寿命化等の改築を実施しており、予算現額 234,000 千円に対し、支出負担行為額 227,062 千円で執行率 97.04%となっている。

イ ポンプ場施設費

保全対策事業としてポンプ場施設の更新、長寿命化等の改築を実施しており、予算現額 16,700 千円に対し、支出負担行為額 14,960 千円で執行率 89.58%となっている。